

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岡山学院大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
人間生活学部	食物栄養学科	夜・通信	4	0	40	44	13		
		夜・通信							
		夜・通信							
		夜・通信							
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/dai_jitsumu_s.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山学院大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/harada_rijimeibo2022.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	内科クリニック院長	令和4年4月1 日から令和8年3 月31日まで	理事長及び理事会 のガバナンス機能 のチェック機能
非常勤	眼科院長	令和4年4月1 日から令和8年3 月31日まで	理事長及び理事会 のガバナンス機能 のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山学院大学
設置者名	学校法人原田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスは次の作成規則(「学校教育法施行規則第172条2 教育研究活動等の状況についての情報の公表」参照)により本学公式ホームページで公開している。シラバスの公表の時期は、新入生にオリエンテーション時にCDで配布している。ホームページには新入生に配布した後、4月上旬に公表する。</p> <p>【シラバス作成規則】</p> <p>シラバス作成規則は、岡山学院大学及び岡山短期大学の教育方針に従い、各学科の教育課程(カリキュラム)の授業科目のシラバス(教育計画)の作成について定める。シラバスの様式は様式-1のとおりとする。シラバスには年度表示して、使用する学生の入学年度を明確にする。教育課程(カリキュラム)に編成されている授業科目名を記入する。当該授業科目の授業回数と単位数を記入する。授業科目を担当する教員名を記入し、学生からの質問受付の方法としてe-mailアドレス及びオフィスアワーを記入する。e-mailアドレスがない場合は無記入とする。オフィスアワーの記入は、時間設定の代わりに在室時は何時でも可としてもよい。教育目標は教育課程編成・実施の方針及び学生の学習成果について明確に記入する。授業の進め方にある講義・演習・実験・実習・実技は、いずれかを四角で囲う。その際、別紙-1, 2の授業形態を参照する。予習・復習は、1単位45時間の計算によって、講義:30時間、演習:15~30時間を課すよう授業時間以外の学習を加えること。テキストの指定は授業内容に相応しいもので、高額にならないものを選択すること。学習成果を明示し、「達成基準」ではなく、学習成果を測定する方法及び評価点の配点が学生に分かるよう記入する。参考図書等を記述し学生が学習しやすくする。1回から15回の授業内容を記入する。学習内容の箇条書きではなく、「何を学び何が出来るようになるか」について教育目標と学習成果の整合性を図って記入する。該当回の授業で何を学習したかを欠席者にも分かるように記入する。定期試験を含まない。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生への配布とホームページで公表している。</p> <p>https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/04/R4ShokuSyllabus.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教授会は、理事会で制定された「岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科の教育方針」および学習成果を獲得させるために、三つの方針のもとに「学習成果を基にした教育の方法、実践」を行い、卒業認定会議および単位認定会議において GPA 集計表を用いて成績評価など学習の結果について分析を行い学生の学習の状況を共有している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組については、入学式に学生便覧を配布し、学則並びに学則施行細則に明記している。また、ホームページでも公表している。</p> <p>卒業認定・学位授与の方針 学位：学士（栄養学）</p> <p>Society5.0時代の現場に即応できる管理栄養士になるため、学科の教育課程（学部共通基礎教養科目および専門教育科目）の学習をとおして、管理栄養士としての学習成果を保証する教育課程の科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。</p> <p>単位は、各期 15 回の授業終了後に実施する定期試験あるいは提出物または日常的なレポート（主として実験実習）によって認定している。定期試験等の不合格者には再試験を実施する。評価方法などは、学生便覧の中（岡山学院大学学則第 4 章単位・授業及び卒業の要件、学則施行細則第 5 章単位修得の認定及び評価について）に明記して周知している。授業への出席は、全授業時間数の 3 分の 2 以上の出席者に受験資格を与えている。授業科目の学習評価は、100 点法をもって採点し、80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可、60 点未満を不可としている。本学では、学則施行細則第 7 条（5）項に示す通り、成績評価に GP（グレードポイント）を用いて学生の学習成果を目視できる形にしている。GP は授業評価に対して優を 4、良を 3、可を 2、不可を 1 とし、出席時間数が足りず受験資格なしとなったものを 0 としている。この GP を学期ごとに単位当たり平均 GPA（グレードポイントアベレージ）を算出し総合的な成績評価の判定等に使用している。各科目の成績は、大学設置基準第 25 条の 2 及び第 27 条を遵守している</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>「岡山学院大学学則施行細則第 5 章単位修得の認定及び評価について」で公表（該当ページ：19 ページ）</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組については、入学式に学生便覧を配布し、学則並びに学則施行細則に明記している。また、ホームページでも公表している。

卒業認定・学位授与の方針

学位：学士（栄養学）

修業年限：4年

卒業の要件 総修得単位 124 以上

イ) 学部共通基礎教養科目については、22 単位以上。

ロ) 学科専門科目については、70 単位以上。

管理栄養士国家試験受験資格については「専門基礎分野」38 単位、「専門分野」44 単位の総 単位数 82 単位最低限必要。

Society5.0 時代の現場に即応できる管理栄養士になるため、学科の教育課程（学部共通基礎教養科目および専門教育科目）の学習をとおして、管理栄養士としての学習成果を保証する教育課程の科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。尚、単位認定は科目の成績評価を基礎として単位認定の教授会において、学習成果を基準に判定する。卒業を認める卒業生の学習成果は次のとおりである。

1 学位授与に必要な単位を修得している。

2 卒業後社会人として求められるコミュニケーション能力、態度（心構え）や職業に対する知識、理解、価値、意見を獲得している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。

[https://owc.ac.jp/cms/wp-](https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/2022okagakugakusoku.pdf)

[content/uploads/2022/06/2022okagakugakusoku.pdf](https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/2022okagakugakusoku.pdf)

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岡山学院大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/03zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/03zaimu.pdf
財産目録	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/03zaimu.pdf
事業報告書	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/03zaimu.pdf
監事による監査報告(書)	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/03zaimu.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2021/09/r3daigakutenken.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2018/10/29daigakuhyoukahoukokusho.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 人間生活学部食物栄養学科
教育研究上の目的（公表方法：岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/2022okagakugakusoku.pdf
(概要) 人間生活学部食物栄養学科では、高度な専門知識や技能を修得し、健康寿命延伸・QOL 向上のための栄養の指導を行う専門家を育成する。 4年間じっくり学ぶことで、栄養士免許を取得するとともに、管理栄養士の国家試験受験資格を得る。管理栄養士とは、「人」の健康の維持増進をはかるための栄養の指導に携わる専門家である。高齢化が進むこれからの社会にあつてはチーム医療のスタッフとして大いに期待され、また、食品技術系の企業においても、管理栄養士に人材ニーズが高まっている。食物栄養学科では将来、こうした栄養・食を通して、人々の健康と幸福に貢献する管理栄養士を育てるために次の教育目標を掲げている。 ① 生活習慣病の予防と改善に貢献する管理栄養士の養成 ② 疾病の予防や治療において栄養評価・判定に基づく高度な専門知識・技能による栄養指導及び栄養管理等に携わることのできる管理栄養士の養成 ③ 豊かな人間性に富み、カウンセリングや福祉・介護分野の知識を修得した管理栄養士の養成 ④ 人材ニーズが高まっている食品技術系の企業で活躍する管理栄養士の育成 ⑤ 学校における食に関する指導の目標、食に関する指導の全体計画、各教科等や給食における食に関する指導方法を修得し、管理栄養士として学んだことを学校教育の現場で生かすことができる栄養教諭の育成
卒業の認定に関する方針（公表方法：岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/2022okagakugakusoku.pdf
(概要) 卒業認定・学位授与の方針 学位:学士(栄養学) Society 5.0 時代の現場に即応できる管理栄養士になるため、基礎教育科目および管理栄養士課程の専門教育科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。 卒業を認める卒業生の学習成果は次のとおりである。 1. 学位授与に必要な単位を修得している。 2. 卒業後社会人として求められるコミュニケーション能力、態度(心構え)や職業に対する知識、理解、価値、意見を獲得している。 尚、単位認定は科目の成績評価を基礎として単位認定の教授会において、学習成果を基準に判定する。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：岡山学院大学学則並びに学則施行

細則、ホームページで公表している。
<https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/2022okagakugakusoku.pdf>

(概要)

教育課程編成・実施の方針

管理栄養士課程として、栄養士の免許および管理栄養士の国家試験受験資格を得るための専門教育科目を編成し、実施する。

また、同時に「食品衛生資格履修コース」を専門教育科目の中に科目指定し、実施する。

栄養教諭一種免許状を得るための教職課程を編成し、実施する。

Society 5.0 時代に求める3つの力を汎用的学習成果として獲得させる基礎教育科目にクリエイティブ力基礎科目群、マネジメント力基礎科目群及びホスピタリティ力基礎科目群を編成し、実施する。

希望者に対して、フードスペシャリスト資格認定証、専門フードスペシャリスト資格認定証、図書館司書などが取得できるサブカリキュラムも編成し、実施する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。

<https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/2022okagakugakusoku.pdf>

(概要)

入学受入れの方針

本学に入学する人物には、次のような資質・能力を求める。

- ・栄養・食を通して、人々の健康と幸福に貢献する管理栄養士の仕事を理解している。
- ・卒業後、管理栄養士として働く意思が強い。
- ・Society 5.0 時代に必要なスキルの修得意識が強い。
- ・本学での学習に必要な一定水準の学力を身に付けている。
- ・生物、化学を基礎とする学習に努力できる。

【入試に係る取組・改善状況】

令和4年度から、学生の学習成果及び3つの方針の内容を変更した。教育三綱領「自律創生・信念貫徹・共存共栄」から栄養教諭とで活躍したいという入学時の目標を達成しやすくなるよう、教育目標の中に栄養教諭の項目を追加した。また、Society5.0 社会の現場で活躍する食と健康の専門家を養成する教育目標から、アドミッション・ポリシーの内容の中に Society5.0 時代に必要なスキルの修得意識が強いという項目を入れた。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：岡山学院大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。

<https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/2022okagakugakusoku.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
人間生活学部	—	7人	4人	5人	0人	0人	16人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		15人					15人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）	公表方法：ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4ogu_172_2.pdf						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
人間生活学部	40人	24人	60.0%	160人	102人	63.0%	0人	2人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	40人	24人	60.0%	160人	102人	63.0%	0人	2人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	25人 (100%)	0人 (%)	22人 (88.0%)	3人 (12%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	25人 (100%)	0人 (%)	22人 (88.0%)	3人 (12%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>【教育課程編成・実施の方針】 管理栄養士課程として、栄養士の免許および管理栄養士の国家試験受験資格を得るための専門教育科目を編成し、実施する。 また、同時に「食品衛生資格履修コース」を専門教育科目の中に科目指定し、実施する。 栄養教諭一種免許状を得るための教職課程を編成し、実施する。 Society 5.0時代に求める3つの力を汎用的学習成果として獲得させる基礎教育科目にクリエイティブ力基礎科目群、マネジメント力基礎科目群及びホスピタリティ力基礎科目群を編成し、実施する。 希望者に対して、フードスペシャリスト資格認定証、専門フードスペシャリスト資格認定証、図書館司書などが取得できるサブカリキュラムも編成し、実施する。</p> <p>【シラバス】 岡山学院大学及び岡山短期大学の教育方針に従い、各学科の教育課程（カリキュラム）の授業科目のシラバス（教育計画）の作成について定める。シラバスの様式は様式-1のとおりとする。シラバスには年度表示して、使用する学生の入学年度を明確にする。教育課程（カリキュラム）に編成されている授業科目名を記入する。当該授業科目の授業回数と単位数を記入する。授業科目を担当する教員名を記入し、学生からの質問受付の方法として e-mail アドレス及びオフィスアワーを記入する。e-mail アドレスがない場合は無記入とする。オフィスアワーの記入は、時間設定の代わりに在室時は何時でも可としてもよい。教育目標は教育課程編成・実施の方針及び学生の学習成果について明確に記入する。授業の進め方にある講義・演習・実験・実習・実技は、いずれかを四角で囲う。その際、別紙-1, 2 の授業形態を参照する。予習・復習は、1 単位 45 時間の計算によって、講義：30 時間、演習：15～30 時間を課すよう授業時間以外の学習を加えること。テキストの指定は授業内容に相応しいもので、高額にならないものを選択すること。学習成果を明示し、「達成基準」ではなく、学習成果を測定する方法及び評価点の配点が学生に分かるよう記入する。参考図書等を記述し学生が学習しやすくする。1 回から 15 回の授業内容を記入する。学習内容の箇条書きではなく、「何を学び何が出来るようになるか」について教育目標と学習成果の整合性を図って記入する。該当回の授業で何を学習したかを欠席者にも分かるように記入する。定期試験を含まない。</p> <p>【令和4年度の年間の授業の計画】 学年・学期・休業日 学年 4月1日～翌年3月31日 学期 前期 4月1日～9月10日</p>

後期 9月11日～翌年3月31日
休業日 国民の祝日に関する法律に規定する休日
日曜日
春期休業 3月21日～3月31日
夏期休業 8月1日～9月10日
冬期休業 12月22日～翌年1月7日

令和4年度スケジュール

前期（4月1日～9月10日）

4月1日：入学式
2日：授業開始（新入生以外）
4日：履修登録（新入生以外～4/9）
8日：授業開始（新入生）
11日：履修登録（新入生～4/16）
15日：履修登録表学科戻し（新入生以外）
22日：履修登録表学科戻し（新入生）
5月13日：〔食物〕臨地実習生胸部X線検査 14：00～15：00
22日：オープンキャンパス
28日：健康寿命延伸教室
31日：大学開学記念日
6月6日：栄養教育実習（～6/10）
12日：オープンキャンパス
20日：〔食Ⅲ〕給食実習Ⅰ（～6/24）
25日：後援会理事会
27日：〔食Ⅲ〕公衆実習、給食実習Ⅱ（～7/1）
7月16日：オープンキャンパス
17日：同窓会総会
24日：オープンキャンパス（二部制）
25日：定期試験（～7/30）
8月6日：オンラインオープンキャンパス
21日：オープンキャンパス（二部制）
9月1日：オリエンテーション（各学科）
12日：後期授業開始、履修登録（～9/17）
18日：オープンキャンパス
24日：オンラインオープンキャンパス、履修登録学科戻し
26日：〔食Ⅲ〕臨床実習（～10/7）

後期（9月11日～3月31日）

10月15日：有城祭
22日：健康寿命延伸教室
11月9日：学友会役員選挙
12月21日：授業終了
29日：冬季休業（～1/3まで）
1月10日：授業開始
23日：定期試験（～1/28）
2月11日：オープンキャンパス
3月20日：卒業式
24日：オリエンテーション（在学生）
25日：オープンキャンパス
31日：入学生校医検診・学用品販売

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学位：学士(栄養学) 修業年限：4年 卒業の要件 総修得単位 124 以上 イ) 学部共通基礎教養科目については、22 単位以上。 ロ) 学科専門科目については、70 単位以上。 管理栄養士国家試験受験資格については「専門基礎分野」38 単位、「専門分野」44 単位の総単位数 82 単位最低限必要。 Society 5.0 時代の現場に即応できる管理栄養士になるため、基礎教育科目および管理栄養士課程の専門教育科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。 卒業を認める卒業生の学習成果は次のとおりである。 1 学位授与に必要な単位を修得している。 2 卒業後社会人として求められるコミュニケーション能力、態度(心構え)や職業に対する知識、理解、価値、意見を獲得している。 尚、単位認定は科目の成績評価を基礎として単位認定の教授会において、学習成果を基準に判定する。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
人間生活学部	食物栄養学科	124 単位	有・無	(1 学期) 30 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4ogu_172_2.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
人間生活 学部	食物栄養 学科	700,000 円	250,000 円	240,000 円	施設設備費、教育充実費
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) メンタルケアやカウンセリング体制については学生相談室がある。本学学生の個人的諸問題について相談に応じ、援助を行うことを目的とするもので、入学式直後のオリエンテーションで概要を毎年告知している。構成員はカウンセラー及び相談員である。利用可能な日時は年度・学期ごとに掲示によって告知し、利用方法に関しては全学生に対して新年度オリエンテーションにおいてカウンセラーが特別に説明している。以上のことは学生便覧に詳述され、学生はいつでも読むことが出来る。運営に関しては学長とカウンセラー及び相談員が連携をとっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 大学の専任教員が担当者となって編入学、公務員試験をはじめとする一般職の就職相談及び就職指導などキャリア支援をしている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では教員の中から任命された生活指導担当教員により生活指導部が構成され、学生の心身ともに健康な生活支援を行っている。また、同様に任命された環境衛生担当教員で構成する環境衛生部は学内の清掃と美化に努め、学内の規律を保つための厚生補導に努める。このことは入学式直後の新生オリエンテーションや新学期の新2、新3、新4年次生へのオリエンテーションでも生活指導部および環境衛生部は学生に対し呼びかけ、注意を促すのが通例である。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページに公表 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4ogu_172_2.pdf

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	岡山学院大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		16人	14人	16人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	-人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				16人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。